

○「良好」であること

◎ 規則正しい生活習慣が身に付いており、学習の基盤ができている。

<肯定的な回答が多かった質問事項>

- ・朝食を毎日食べている児童が8割を超えています。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童は100%（肯定的な回答の合計）

→生活リズムが整っている児童は全国や県平均を上回る非常に高い数値を示しており、学習への集中力も高い傾向にあります。今後もこの習慣を継続できるよう支援をお願いします。

◎ 前向きな気持ちで学校生活を送り、豊かな人間性や社会性を備えている。

<肯定的な回答が多かった質問事項>

- ・自分にはよいところがある。・学校に行くのが楽しい（100%）
- ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多い。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと考えている。
- ・人の役に立つ人間になりたい（100%）・将来の夢や目標を持っている。
- ・人が困っている時には進んで助ける。

◎ 国語・算数・理科を学ぶ意義を理解し、主体的に学習を振り返っている。

<肯定的な回答が多かった質問事項>

- ・各教科の勉強は、大切であり、将来社会に出て役に立つ。
- ・学習した内容について見直しを行い、次の学習につなげることができている（90.9%）。
- ・算数で学んだことを、普段の生活の中で活用できている。

◎ 授業では自分の考えを持ち、他者と協働しながら課題を解決しようとしている。

<肯定的な回答が多かった質問事項>

- ・学級の友達との話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりしている。
- ・総合的な学習の時間や学級活動において、自分で課題を立てたり、学級生活をよりよくするために話し合ったりする活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・道徳の授業で、学級やグループでの話し合いを通じて考えを深めている。

○「課題」であること

◎ ICT機器を「使いこなす」実感の低さ

- ・情報の整理: ICT機器を使って情報を整理（図、表、グラフ、思考ツール等を使ってまとめる）することについて、「あまりそう思わない」と回答した児童が54.5%にのぼり、福井県平均（23.9%）や全国平均（25.7%）を大きく上回っています。
 - ・プレゼン作成: 発表スライドの作成ができるか、という質問についても「あまりそう思わない」が27.3%と、県・全国平均より高い傾向にあります。
- これらは、検索などの「収集」は得意（81.8%が「とてもそう思う」）である一方で、得た情報を分析・構成する活動に自信が持てていない現状を示しています
- この結果を受け、学校ではICTを単に調べるだけでなく、自分の考えを視覚的に整理し、分析するために効果的に活用する学習活動を強化していきます。ご家庭でも、タブレット等を使用する際に「どのようにまとめたか」など、アウトプットを意識した声かけをお願いいたします